

タネ・マフタと

縄文杉が取り持つ国際交流

ニュージーランドのタネ・マフタと縄文杉の姉妹木締結が縁で、平成 21 年 10 月ニュージーランドワイポウア森林保護区の市長をはじめ、経済界、環境保全活動家、博物館館長などが、屋久島を訪れ、屋久島環境文化センターの施設を見学しました。

屋久島とワイポウア森林保護区とは千年以上の大木が育つ環境があることだけでなく、商業用伐採の歴史や、自然環境保全活動など同じような経験をしています。

屋久島環境文化村センターでは、自然環境保全の活動をカウリ博物館と情報交換など行い、発信していければと考えています。



海を隔てて姉妹木

～ 縄文杉 × タネ・マフタ ～

それぞれの地元の人々や関係機関の、
◇ 自然を守ろうとしている姿勢
◇ 自然との共存
◇ 森の再生の歴史 など…
お互いの共通項が多いことから実現に。



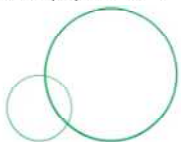
巨木同士が姉妹締結

屋久島の「縄文杉」とニュージーランドの「タネ・マフタ」が姉妹木関係を締結。

ニュージーランド政府観光局は、ニュージーランド北東・ノースランド地方に位置するファーノース地区とカイパラ地区にまたがるワイポウア森林保護区で、2009年4月23日「The Family of Ancient Trees-古代木ファミリー」プロジェクトの発足を発表し、記念式典を執り行いました。

締結の意味するものー

「The Family of Ancient Trees-古代木ファミリー」プロジェクトとは、世界中に存在する歴史的・文化的に意味のある古代木が「姉妹木」関係を築いていくことにより、地域間の伝統や文化の交流を深め、お互いの文化的背景の理解や自然環境保全の意識を高めていくことを目的としています。



↑ 調印式の様子
(写真提供：屋久島町)